

羽田地区防災街区整備地区計画 届出チェックリスト

対象エリア	制限事項	計画内容	チェック
共通事項	建築物の構造に関する防火上必要な制限 * () は幹線道路沿道地区		
	階数 4 (3) 以上または延床面積 500 (100) m ² 以上	<input type="checkbox"/> 耐火建築物	<input type="checkbox"/>
	上記以外の建築物	<input type="checkbox"/> 準耐火建築物	
	建築物の敷地面積の最低限度		
	地区全域	<input type="checkbox"/> 50m ² 以上	<input type="checkbox"/>
	施行日※以前に最低敷地面積未滿で土地利用がされた場合 ※2019年5月20日	<input type="checkbox"/> それ以外	
	垣又はさくの構造の制限 道路に面する部分の垣または、生垣またはフェンスとする。ブロック塀に類するものを設ける場合は高さ 60cm 以下とする。	<input type="checkbox"/> 設置なし <input type="checkbox"/> 生垣またはフェンス <input type="checkbox"/> 60cm 以下のブロック塀	<input type="checkbox"/>
	建築物等の用途の制限 風営法第 2 条第 6 項各号及び第 9 項に規定する営業の用に供するものは建築してはならない。	用途	<input type="checkbox"/>
	建築物等の形態又は色彩その他意匠の制限 外壁及び屋根などは地区の環境に調和したものとする。	外壁色 屋根色	<input type="checkbox"/>
	特定地区防災施設沿い	建築物等の高さの最低限度 5m 以上	() m ≥ 5m
間口率の最低限度 7/10 以上 * 間口率を満たす部分は、地区防災道路の道路面から高さ 5m の範囲は空隙のない壁を設けるなど防火上有効な構造とする。		$\frac{\left(\begin{array}{l} \text{特定地区防災施設に面する建築物の水平投影長さ} \end{array} \right)}{\left(\begin{array}{l} \text{特定地区防災施設に接する敷地の長さ} \end{array} \right)} = \frac{() \text{ m}}{() \text{ m}} \geq \frac{7}{10}$	<input type="checkbox"/>
壁面の位置の制限 計画道路の中心から建築物までの距離は 3m 以上とする。			<input type="checkbox"/>
重点整備路線沿い	工作物の設置の制限 計画道路の中心から 3m の壁面後退区域は歩道状空間とし、塀や自動販売機などの工作物を設置しない。		<input type="checkbox"/>